

事務事業名	国営美蔓地区期成会参画事業		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	法令根拠	土地改良法
政策名	0131 基幹産業の農業に対する強化・支援	所属部門	経済 部	農林 課	土地改良 係(グループ)
施策名	0151 農業経営と農村生活基盤の強化・支援	課長名	谷保義明	担当者名	境野勝敏 529
基本事業名	21111111 農業生産基盤の整備	予算科目	会計 1 5 1 9	項目	事業 土地改良事業
全庁共通課題	<input type="checkbox"/> 協働のまちづくり <input type="checkbox"/> 男女共同参画 <input type="checkbox"/> 食のまちづくり <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 次世代				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H5 年度 ~) (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入				

事業概要		全体計画 (単位:千円)
平成5年度に国営かんがい排水事業美蔓地区が計画実施され、この事業を推進するために関係町・新得町・鹿追町・音更町・清水町・芽室町の5町で組織する美蔓地区期成会(各町の首長が期成会役員、下部組織として各町の担当者組織の幹事会がある)を立ち上げ事業主体である常広開発建設部を交え毎年、事業計画推進、事業調整、地元受益者調整、要望事項、完成後の維持管理などを協議する場として事業完了まで実施し、完了後は美蔓地区施設維持管理協議会に移行する。		特定財源
		一般財源
		その他
		事業費計(A)
		正規模員従事人数
人工	人件費計(B)	
トータルコスト(A)+(B)		

(1) 事務事業の目的と効果		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)		名称	
16年度実績		単位	
事業計画、地元受益者調整、計画変更事務を関係町で協議		ア 貯水池、用水路	条
17年度計画		イ	
16年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
農地		名称	
		ア 受益農地	ha
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標 (対象における意図された対象の程度) 数字は記入しない	
農地にかんがい用水として利用		名称	
		ア かんがい用水を必要とする面積	ha
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
かんがいする事により農業経営の安定が図られる。		名称	
		ア 農地の維持	ha
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	14年度 (実績)	15年度 (実績)	16年度 (実績)	17年度 (見込)	18年度 (目標)	19年度 (目標)	23 年度 (最終目標)
投入量	事業費	千円							
	特定財源	千円	18	18	18	18	18	18	18
	一般財源	千円							
	その他	千円							
	事業費計(A)	千円	18	18	18	18	18	18	18
人件費	正規模員従事人数	人	2	2	2	2			
	人工	年間			0.0699				
	人件費計(B)	千円	0	0	646	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	18	18	664	18	18	18	18
活動指標	ア 条		2	2	2	2	2	2	
	イ								
	ウ								
対象指標	ア ha		374	374	374	374	374	374	
	イ								
	ウ								
成果指標	ア ha		374	374	374	374	374	374	
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア ha		374	374	374	374	374	374	
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・町民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?
平和地区は高台、丘陵地区で農業用水が不足地帯であり毎年水不足が続くが営農用水が底をつきタンク車で配送して急場をしのいでいたが、将来的にも農業は継続されるため農業用水を確保するために国などに事業を要望した。	計画段階で変化はない。
この事務事業に対して関係者(町民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?	
現在は計画段階なので1日も早く事業着手を地元受益者は望んでいる。	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との結びつき この事務事業の目的は町の政策体系に結びつくか？意図することが上位施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく [理由] ↷	事業が実施されることにより農業用水不足が解消される。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 手が引ける [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 手が引けない [理由] ↷	町全体の農地にかんがい事業が計画され用水が利用できる。施設管理は町で行い、関係受益者は農業水利利用料を負担し、管理組織を組織し末端施設の維持管理に努める。
	対象・意図の拡大又は縮小余地 対象と意図の拡大・縮小の余地はないか？(拡大による成果向上、限定・縮小による公的関与の適正化やコスト削減はできないか)	<input type="checkbox"/> 余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↷	この事業が完了すれば町全体の農地にかんがい用水が利用できるため、施設管理などはお互いに管理し、施設機能維持に努める。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 余地がある [原因] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない [理由] ↷	農業には水が不可欠で絶対に必要であり、異常気象現象もあり将来の農業経営を確立するためにも必要である。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ	廃止する事で、全農地にかんがい計画が出来なくなる。将来の水確保にはこの事業が必要である。
	類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない ↷ [理由]	国のかんがい事業でしか農業用水確保はできない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ↷ [理由]
全庁共通課題の貢献 全庁共通課題の解決に対してこの事業はどんな貢献をしましたか？	<input type="checkbox"/> 貢献した ↷ 【具体的に】 <input type="checkbox"/> 貢献していない ↷ 【全庁共通課題にもかかわらず貢献していない場合はその理由】		
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ	国の事業であり事業費削減などは十分に把握し工期の短縮など町負担軽減に努めている。
	人件費(業務所要時間)の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 可能 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 [理由] ↷	現状では期成会で最小の会議などで処理しているため最低限の工数である。
	受益者負担の適正化余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input type="checkbox"/> 適正化余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適正化余地がない [理由] ↷	町、受益者で管理する持ち分を明確にしているためバランスが保たれている。

3 改革・改善方向の部(PPLAN)

(1)今後の事業の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(3)改革・改善による期待成果																					
早期着工をして工期内に事業完了する事が水不足解消になる。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

(2)改革,改善を実現する上で解決すべき課題は何ですか？それをどう解決していきますか？

事業完了後の、償還額、維持管理、機器更新等の補助制度が十分でない。